

クロアチア情勢

主な出来事

2014年5月

内政

- 1日、新党「イストラ民主党」設立。ダミル・カイン議員(元イストラ民主会議(IDS)所属)が党首に就任。
- 6日、リニッチ財務相が、ミラノビッチ首相によって解任される。ミラノビッチ首相は、後任にボリス・ラロバツ財務次官(社会民主党(SDP)所属)を指名。
- 10日、ブコバル市雇用局のキリル文字併記の看板が再度撤去される。
- 13-15日、クロアチア東部において集中豪雨が発生。また、17日以降も隣国ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)の洪水により、クロアチア東部サバ川下流域でも大規模な洪水が発生。18日現在で、洪水による死者1名、行方不明者2名、避難者2,000名以上。クロアチアは、同じく大規模な洪水被害が発生したBH及びセルビアへの支援を実施。
- 14日、ラロバツ新財務相が議会で承認。
- 16日、クロアチアの汚職・組織犯罪対策事務所(USKOK)が、シシュリヤギッチ・スラボニア＝バラニャ・クロアチア民主連盟(HDSSB)党首を、汚職容疑で捜査開始。同党首は、辞任表明するも、党からの慰留により留任。
- 22日、クロアチア政府は、洪水対策についての緊急会議をジュパニャ市で開催。クロアチア政府は、BHとセルビアに対し、各75万ユーロの支援実施を決定。
- 25日、欧州議会議員選挙実施。投票率25.24%。HDZ率いる野党連合が6議席を獲得して勝利。SDP率いる与党連合は4議席、新政党クロアチアの持続的成長党(ORaH)は1議席を獲得。
- 29日、リニッチ前財務相がリエカ市にて記者会見を開き、ミラノビッチ首相による自身の財務省解任問題等に関して同首相を批判。

外交

- 12-17日、ヨシポビッチ大統領が米国を訪問し、バイデン米副大統領と会談。
- 15日、プーチン露大統領が欧州18カ国の首相に対し、ウクライナのガス代金未払い問題について警告する、2度目の書簡を送付。
- 19日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相が、EU各国外相に対して西バルカン地域で発生した洪水被害を説明の上、「EU連帯基金」からの支援を要請。

●23日、劉延東・中国国務院副総理がクロアチアを訪問し、ヨシポビッチ大統領、ミラノビッチ首相、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相と会談。翌24日、クロアチア政府と中国政府は、「クロアチア・中国・環境保護研究所」の設立に合意、ヨバノビッチ科学・教育・スポーツ相と劉副総理が署名。

●26日、ブルドリャク経済相がサラエボを訪問し、ラグムジヤBH外相と会談。洪水被害に対する両国間の協力を協議。

経済

●7日、クロアチア政府とハンガリーMOL社が、クロアチア石油公社(INA)経営権を巡る交渉を再開。

●19日、IMFが、クロアチア経済状況に関する同理事会による報告書を公表。クロアチアの2014年経済見通しをマイナス0.8%と予測。

●28日、ビェンコフスカ・ポーランド副首相兼インフラ・開発相がクロアチアを訪問し、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相と共に、クロアチア企業とポーランド企業のEL機関車共同生産に関する署名式に参加。

主要経済指標

(2014年1～3月期, 対前年同期比(除く失業率), 政府統計局発表)

輸出総額 (1～3月)	輸入総額 (1～3月)	貿易赤字 (1～3月)	工業生産高 (4月)	インフレ率 (4月)	失業率(登録制) (4月)
+8.5% (171億クーナ, 22.3億ユーロ)	+2.6% (290億クーナ, 38.0億ユーロ)	-4.7% (119億クーナ, 15.6億ユーロ)	+0.6% (3月:+0.7%)	-0.5% (3月:-0.4%)	21.1% (3月:22.3%)

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。